

～無駄な水分量を減らすためのお願い～

令和3年度アファイでは燃えるごみを5611 t 焼却しました。
このうち、約57%が水分であり、年間約2558 t の水分を無駄に焼却していることとなります。

そこで、無駄な水分量を減らすためのご協力をお願いします。
例えば、台所でのごみの水分を切るなどの、ちょっとした工夫で水分量を減らすことができます。

ちょっとした工夫の一例

★ 調理で工夫 ★

食べる分だけ作って、残さず食べる。

★ 水切り ★

生ごみの入った水切り袋を三角コーナーから取り出し、上からペットボトルや水切り便利グッズなどで押して、水を切る。お茶やティーバッグもしっかり、絞る。

★皆様へ★

ごみの減量とリサイクル率向上に向けた取組にご協力をお願いします！

町のリサイクル率は近年、低迷しています。リサイクル率は次のように計算します。

リサイクル率＝ごみ総資源化量÷ごみ総排出量

⇒ ごみ総資源化量が少ないと下がる、ごみ総排出量が多いと下がるという仕組みになっています。

そこで、リサイクル率向上を図る方法の一つが、「生ごみの減量」です。
生ごみは排出時に「水切り」することで大幅に減量することができるので、ぜひ実践して下さい。

また、食べられるものを捨ててしまう、いわゆる「食品ロス」の削減も大切です。次の「3つの切る」の実践、普及、啓発を皆様の日頃の活動に加えてほしいので、どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 食材は使い切る
- ② 作った料理は食べ切る
- ③ ごみに出すときは水気を切る

